

産業振興 久慈港坂下地区に企業立地第1号

港湾課

TEL019-629-5912

県では、久慈港の臨海地区における企業誘致を図るため、平成19年2月に、諏訪下地区に4haの工業用地を用意しました。

ここに企業立地第1号として、普代村に本社を置く海産物加工の(株)マルサ嵯峨商店が、新工場を建設することになりました。

同社は、久慈市の水産加工団地内に工場を有し、近隣の漁協などから仕入れたサケ、イクラなどの海産物を加工し首都圏などに販売していますが、今回、主要魚種である秋サケの加工能力を拡大するため、秋サケ専門の新工場を建設することとしたものです。

新工場の立地については、昨年8月に同社の嵯峨社長から県に打診があり、今年4月26日に、県と会社との間で工業用地の土地売買契約の締結にいたり、5月7日には、嵯峨社長と久慈市長による企業立地調印式が行われました。

新工場は、5,000㎡の工業用地に、約2億5千万円を投資して、床面積約1,730㎡の鉄骨2階建ての工場棟と排水浄化施設を建設するほか、凍結庫2基、冷蔵庫1基を設置するもので、5月に着工し、9月に完成、操業を開始する予定です。

同社の操業に伴い、当初は新規採用11名を含む41名を雇用し、2年後には、新規採用19名を含む69名を雇用する計画となっており、地域の雇用の場として期待されています。

自治体の支援として、県は不動産取得税を免除、事業税を3年間免除（その後2年間は1/2課税）し、市は固定資産税を3年間免除（その後2年間は1/2課税）するほか、県と市合わせて投資額の20%を補助する予定です。

これを契機に同地区への企業立地に弾みがつき、更なる雇用の拡大につながることを期待されています。



新工場立地予定場所（赤色部分）



新工場建設工事風景